

## 第2回 技術者のマインドシフトに係る集合研修

### ～「こうしましよ」と言える技術者への転換～(2月5日・17日) 開催報告

令和2年2月5日(水)・17日(月)9:30～18:00、梅田センタービル(大阪)において、「第2回 技術者のマインドシフトに係る集合研修～「こうしましよ」と言える技術者への転換～」を開催した。

本研修は、人材革新委員会が「JISA Dream」ならびに「JISA Spirit」実現に向けたDX実践の基盤となる人材革新を推進するため掲げた目標の1つ「技術者のマインドシフト」を推進するため企画したもので、2019年12月に第1回を終え、今回は2回目となる。参加者はJISA会員の若手～中堅クラスを中心とした30名。

当日は(株)NTTデータの新規ビジネス開発手法「DCAP(Digital Corporate Accelerate Program)」に基づき、同社が講演とファシリテーションを行った。参加者は2日間でビジネスアイデアを構想し、企画書にまとめ、発表するまでのプロセスを体験。

#### 【2日間のプログラム】

◆5～6人のチームで、ワークショップ形式で実施します。

	1日目 最新動向を学び、 アイデアを生み出す	宿題	2日目 ビジネスモデルを検討し、 プレゼンする
9:30	インプット (本プロジェクトの 目的説明、吉田劇場)	ユーザインタビュー	ビジネスモデル検討 #2
11:00	↓	類似サービス調査	↓
12:00	休憩	企画の具体化	休憩
13:00	課題発見		プレゼン資料作成
14:00	↓		↓
15:00	アイデア出し		↓
16:00	↓		↓
17:00	ビジネスモデル検討 #1		発表、講評
18:00	↓		↓

#### 【演習テーマ】

- 1.人生100年時代を見据えた、「医療・健康」に関する新しいITサービス
- 2.農業、食品産業やフードロス等の、「食品」に関する新しいITサービス

上記の2つのテーマで6グループに分かれ、ワークショップ形式での演習を行った。

## 【1日目】

はじめに、JISA 副会長・人材革新委員会 福永哲弥委員長 (SCSK(株)取締役専務執行役員)から挨拶があり、本研修の趣旨が説明された。午前中はインプットセッションとして「吉田劇場」と題し、医療・健康、食品に関する IT サービスの最新動向が説明された。午後からはグループワークで課題発見、解決策のアイデア発案、ビジネスモデルの検討が行われた。2 日目までの課題として、ユーザーインタビューの実施や、類似サービスの調査が提示された。

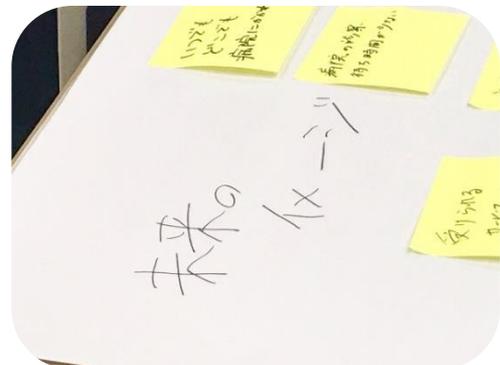
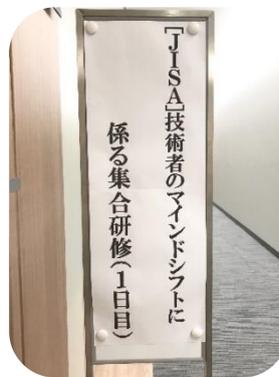


## 【2日目】

2 日目は、1 日目に引き続き、ビジネスモデルの検討、グループで提案するサービスのブラッシュアップが行われた。午後からはプレゼンテーション資料を作成し、17 時より発表、講評が行われた。

参加者からは、「システムを通じた『価値』の提案が必要であるという気付きがあった」「宿題として出された「既存サービスとの比較」「ユーザーインタビュー」は必須だと改めて思った」「チームビルディングのアプローチ、アイデアを生み出す手法が学べた」などの感想が寄せられた。

次回 3 月 3 日(火)及び 3 月 9 日(月)に予定されていた第 3 回は、政府より「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が発表されたことを受けて延期とした。(現時点では開催日は未定)



(田畑・茂木・會木)